

## 編集後記

サッカー日本代表が決勝でオーストラリア代表に劇的な勝利を収め通算で4度目のアジアカップを手に入れました。今大会が行われたカタールのドーハといえば、1993年のワールドカップアジア最終予選で試合終了間際のロスタイムに同点ゴールを決められ、本大会への出場を逃した「ドーハの悲劇」として日本代表にとっては因縁の地でもあります。大会もひと頃言われた決定力不足など嘘のように試合ごとにヒーローが誕生し、選手もインタビューなどで口々にチームが成長していることやチームが一丸となっていることを示すように控えの選手もピッチに入って結果を出していました。見ている方も試合終了の笛が鳴るまで何が起るかわからない接戦が多かったため、試合を重ねるごとにまるでワールド・カップの時のように盛り上がり、深夜の時間帯にもかかわらず予選リーグでは平均視聴率が10%台であったのが準決勝の韓国戦では35%、決勝のオーストラリア戦では33%にもなったそうです（数字は関東地区）。ドーハで結果を残したことではや因縁の地ではなくなりました。ザッケローニ監督の大会後のインタビューで「このチームの最大の目標はワールド・カップ予選の突

破で結果と成長を求めながら向かっていきたい」という言葉は、景気が低迷し先行きも不透明といわれる今の時代、明るいニュースを期待して今後の采配に注目です。

さて、今月号の特集テーマは「解体とリサイクル、廃棄物処理」ということで、構造物の解体や現場発生土等のリサイクル、解体・リサイクル用建設機械、廃棄物処理場の動向などについて紹介しました。巻頭言は九州大学の島岡教授にお願いしました。循環型社会の形成が確実に進捗し廃棄物最終処分量が平成12年度から19年度にかけて半減しているという結果は、反面、廃棄物最終処分の課題を生み、新たな視点や発想の転換という今後の循環型社会の更なる成長に向けての助言を頂きました。

また、執筆原稿の締め切りや校正の確認が年末年始とお忙しい時期にもかかわらず、快く依頼を受け、ご執筆を頂いた皆様に誌面を借りまして厚く御礼申し上げます。

当協会の専務理事、副会長及び本誌の機関誌編集委員長を務めてこられました岡崎治義様におかれましては、この2月3日にご逝去されました。ここに永年のご指導に感謝申し上げますと共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌。

(石倉・松澤)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
加納研之助	桑垣 悦夫
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	塚原 重美
寺島 旭	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

### 編集委員長代行

太田 宏 三井造船(株)

### オブザーバ

山下 尚 国土交通省

### 編集委員

山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
松本 久	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラージャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
相田 尚	(株)NIPPO
田岡 秀邦	日本道路(株)
堀田 正典	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
江本 平	範多機械(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
松澤 享	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

### 3月号「空港と港湾特集」予告

- ・国際コンテナ戦略港湾政策の取り組み
- ・空港舗装巡回等点検システムの開発
- ・東京国際空港線国際旅客ターミナルビル建設工事における大規模屋根スライド工法
- ・東京モノレール羽田空港国際線ビル駅新設に伴う線路切替工事
- ・羽田空港国際ターミナル駅建設工事土木工事（京急羽田新駅）
- ・防衛省空港舗装における施工の合理化
- ・ジオテキスタイルチューブによる埋立地中仕切仮築堤の築造
- ・油圧ハンマ騒音低減装置 一地域の生活環境を守る工事騒音低減工法の開発一
- ・遠隔操縦対応型水中バックホウの施工事例と有効性
- ・油圧ショベル型港湾荷役専用機械における作業効率向上
- 一マテリアルハンドリング機 TL1100-3 の紹介一

## No.732「建設の施工企画」 2011年2月号

〔定価〕1部840円（本体800円）  
年間購読料9,000円

平成23年2月20日印刷

平成23年2月25日発行（毎月1回25日発行）

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

## 発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322

本誌上への広告は(株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8 (精工ビル5F) 電話 03-5472-1801 FAX03-5472-1802 E-MAIL: info@kyoeitushin.co.jp  
担当 本社編集部 宗像 敏